

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正な課税資料の収集		目標年度	指標の設定理由			
	数値	-			適正な課税業務を行うためには必要な業務であるため			
活動指標	指標	a	過誤納金の減少	b	c		d	
	数値	目標	減少	目標	目標	目標	目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
適正な課税資料の収集		-	-	-

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 過誤納金の減少	千円	35,232 千円	11,993 千円	8,764 千円
		28,909 千円	▲ 23,239 千円	▲ 3,229 千円
b				
c				
d				

4. 課題と対応

課題
過誤納金の減少
対応（改善点等）
賦課徴収事業の啓発活動・課税客体の把握と関連があるため連携して対応する。

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

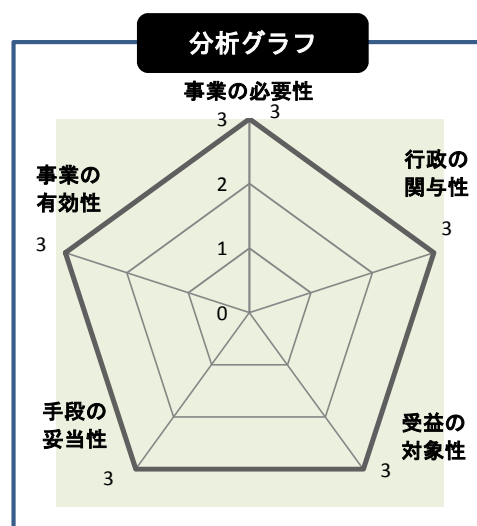
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		41,375	16,988	15,277	24,985
うち経常経費		41,375	16,988	12,898	24,985
財源内訳	国費				
	県費			2,379	4,897
	市債				
	その他				
	一般財源	41,375	16,988	12,898	20,088
うち経常		41,375	16,988	12,898	20,088
事業費に係る人件費		33,791	32,682	32,629	32,250

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
税務管理部門であり、現行で推移するため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 行政主体によるため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 行政主体によるため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市民（納税者）である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 年々効果を上げている
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 適正な処理に努めている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適正な課税資料の収集に努めること